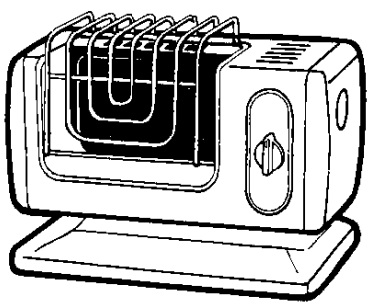
ガス赤外線ストーブ

43-431型

型式名 R-483PMS-201



取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にお問い合せください。

大阪ガス

大阪ガスのお問い合わせ先

大阪支社	〒550	大阪市西区千代崎3-2-95	電話 大阪 06 (586)3200
南部支社	〒590	堺市住吉橋町2-2-19	電話 堺 0722(38)1131
北部支社	〒569	高槻市藤の里町39-6	電話 高槻 0726(71)0361
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2-3-17	電話 河内 0729(62)1131
兵庫支社	〒650	神戸市中央区東川崎町1-8-2	電話 神戸 078(360)3100
京都支社	〒600	京都市下京区中堂寺粟田町1	電話 京都 075(311)7381
奈良支社	〒631	奈良市学園北2-4-1	電話 奈良 0742(44)1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1-5	電話 和歌山 0734(31)2481
兵庫西支社	〒670	姫路市神屋町4-8	電話 姫路 0792(85)2221
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6-57	電話 豊岡 0796(23)2221
滋賀支社	〒525	草津市西大路町5-34	電話 草津 0775(62)5311
滋賀東支社	〒522	彦根市大東町12-11	電話 彦根 0749(22)3131
長浜営業センター	〒526	長浜市南呉服町3-4	電話 長浜 0749(62)7171
本社・ガスビル サービスセンター	〒541	大阪市中央区平野町4-1-2	電話 大阪 06 (202)2221

大阪ガス株式会社

おねがい ガスくさいときは、ガス栓を閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)大阪ガス支社、サービスセンターにご連絡ください。

480P-229
940800

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス赤外線ストーブを
お求めいただきまして、
ありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を
大切に保存してください。

もくじ

- 機能と特長……1
- 必ずお守りください……2・3・4・5
- 機器の設置……6
- 各部のなまえとはたらき……7
- 使用方法……8・9
- 使用時のご注意……10
- 故障かな?と思ったら……11
- 点検・お手入れ……12・13
- 寸法図……14
- 仕様……15
- 保管とアフターサービス……16・17

機能と特長

■能力2段切替装置付

お部屋の状態に合せ、「全開」「半開」の2段階に切替え経済的に使用できます。
(9ページをごらんください。)

■不完全燃焼防止装置付

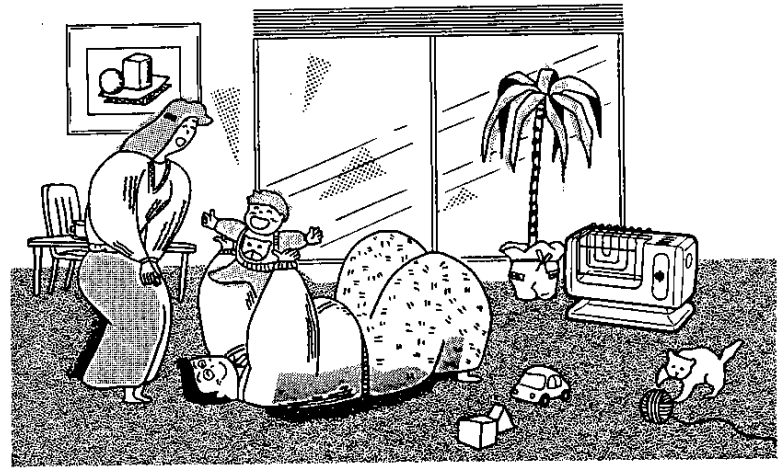
お部屋の酸素不足などによる、不完全燃焼を防ぐ安全装置付です。
自動的に消火します。
(10ページをごらんください。)

■立消え安全装置付

ご使用中に炎が消えてしまったときにガスを止め生ガスの放出を防止します。
(10ページをごらんください。)

■転倒時ガス遮断装置付

機器が倒れたり、強い衝撃が加わったとき、自動的に消火し事故を防ぐ安全装置付です。
(10ページをごらんください。)

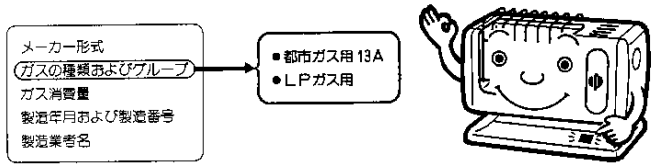


必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

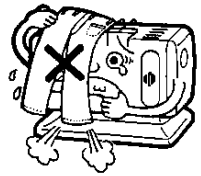
■ガスの種類を確かめる

- 機器本体（銘板）に表示してあるガス（ガスグループ）以外では使用しないでください。
- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 転居されたときにも、ガスの種類を必ず確かめてください。（17ページをごらんください。）



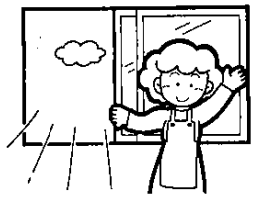
■用途について

- 暖房以外の用途（衣類の乾燥など）には使用しないでください。
- 衣類などを機器の上に置いたり、掛けたりしないでください。
（異常過熱・火災防止のため）



■換気のご注意

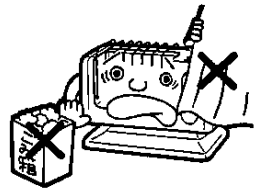
使用中は30分に1回、1分間程度換気扇を回すか、窓を開けるなどしてじゅうぶんな換気を行ってください。



■使用場所について

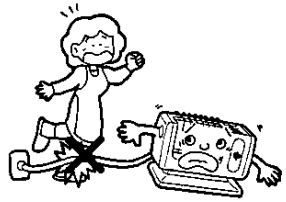
●燃えやすいものからは離して設置!!

家具・壁・カーテンなど燃えやすいものや、スプレー・シンナーなど引火性の強いものからは、じゅうぶん離してください。



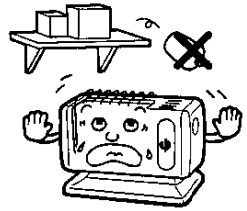
●人の通るところに置かないで!!

部屋の出入口など人の通るところへ置かないでください。
やけどや転倒の危険があります。



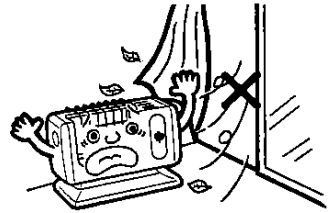
●落下物に注意!!

たなの下など落下物の危険のあるところでは使用しないでください。



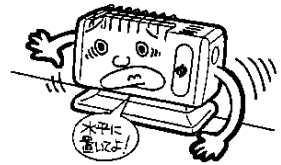
●機器に強い風を当てないで!!

強い風の吹き込むところでは使用しないでください。炎が風で消えることがあります。



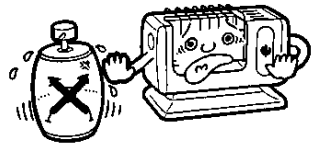
●機器は水平に!!

毛足の長いじゅうたんの上に置く場合は、敷き板などを敷いて水平にしてください。
（じゅうたんの変色防止のため）



●スプレー缶を機器の前に置かないで!!

スプレー缶（殺虫剤、ヘアースプレーなど）を機器の前方1m以内に置かないでください。熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発する恐れがあります。

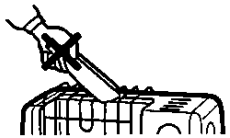


■火災予防について

●点火したまま持ち運ばないでください。

●機器の中へ物を入れないで!!

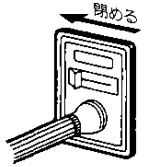
機器の中へ物を入れますと、思わぬ事故のもとになります。物を入れないよう入らないように注意してください。万一物が入ってしまったときは、すぐ消火し機器の外へ出すようにしてください。



■ガス事故防止

●ガス漏れ防止のために!!

ガスの接続は、必ずガス用ゴム管をお使いください。(6ページをごらんください。)
使用後は必ず器具栓、ガス栓とも閉め消火したことを確かめてください。
お出かけや長時間使用しないときは、ガス栓も必ず閉めてください。

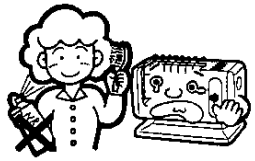


●ビニール管は使用しないで!!

ゴム管はガス用ゴム管(検査合格またはJISマークなどの表示が入っているもの)を使用してください。ビニール管は絶対に使用しないでください。弾力性がなく、熱に弱く危険です。
また、ひび割れたり差し込み口がゆるんでいるもの、または3年をめやすとして古くなったゴム管は取り替えてください。

●スプレーは離れた場所で!!

ヘアースプレーなど引火物を機器の近くで使用しないでください。
(引火する危険があります。)



●ガス漏れに気づいたときは!!

ガス栓を閉じ、窓や戸を全部開けて、ガスを外へ出してから、もよりの大阪ガス支社へご連絡ください。
絶対に火をつけたり、換気扇などの電気器具のスイッチの「入・切」などしないでください。
(爆発事故防止のため)

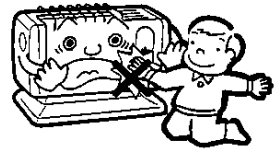
●外出・就寝はガス栓を閉めて!!

機器をご使用中に外出したり、就寝しないでください。
機器から離れるときも消火するようにしてください。

■やけどの注意

●ご使用中、ご使用直後は、熱くなってます!!

ご使用中および使用直後は、機器本体と排気出口部、放熱部とその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。
(特に、小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。)



●お子様に注意!!

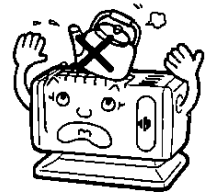
小さなお子様が勝手に点火操作をしないようにご注意ください。

●機器にのらないで!!

機器の上に腰掛けたり、乗ったりしないでください。

●やかんをのせないで!!

機器の上には、なべややかんなどをのせないでください。お湯がこぼれて火が消えたり、やけどをしたりするおそれがあり危険です。また、機器内部がぬれますと腐食することがあります。



■機器の移動について

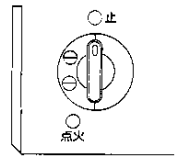
●機器を移動するときは、必ず持ち上げて移動してください。

機器を、引きずって移動すると、床(畳・じゅうたんなど)にキズがつくことがあります。

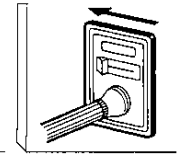
■異常時の処置

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、あわてず次の処置をし、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

1 器具栓を止め



2 ガス栓を閉め



3 大阪ガスへ連絡

■日常の点検・お手入れ

- バーナーがじゅうぶんに赤熱しないときは、13ページのバーナー空気口のお手入れをしてください。
- 日常の点検・お手入れは必ず行ってください。(12、13ページをごらんください。)
- 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。

機器の設置

■設置前の準備と確認

●梱包材の除去

ガス接続口には、輸送、保管時におけるゴミ混入防止のためキャップがついています。
取りはずしてご使用ください。また、テープ止めしてあるテープもはずしてください。

■設置上の注意

●設置するときに、3ページの 使用場所について をお読みください。

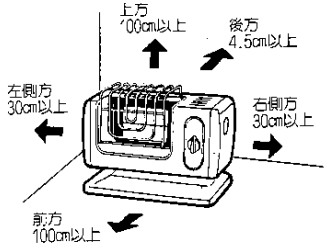
■設置場所について

●じょうぶで水平な場所に置いてください。

特に、毛足の長いじゅうたんなど不安定な場所へ設置するときは、機器の下にじょうぶで不燃性の敷板などを敷き、水平になるようにしてください。

●周囲の可燃物からは、じゅうぶん離してください。

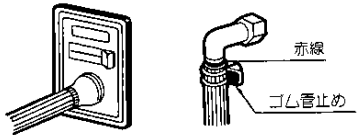
機器の前方は、100cm以上、
後方は、4.5cm以上、
上方は、100cm以上、
両側方は、30cm以上、
燃えやすいものから離してください。



■ガスの接続

●ガスの接続は、必ず内径9.5mmのガス用ゴム管を使用してください。
ビニール管は使用できません。

●ガス用ゴム管は、ガス栓・機器のガス接続口とも赤線までじゅうぶんに差し込んで、ゴム管止めでしっかり止めてください。
ゴム管止めでしっかり止めていないと、知らずにはずれかかってガスもれが生じることがあり危険です。

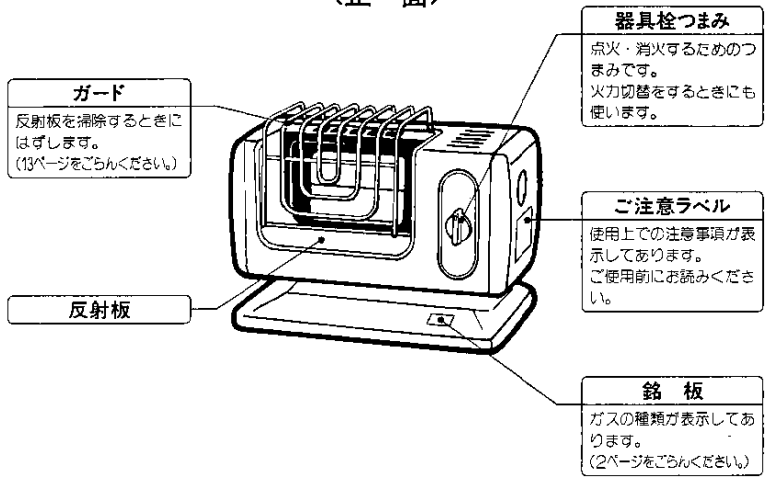


ご注意

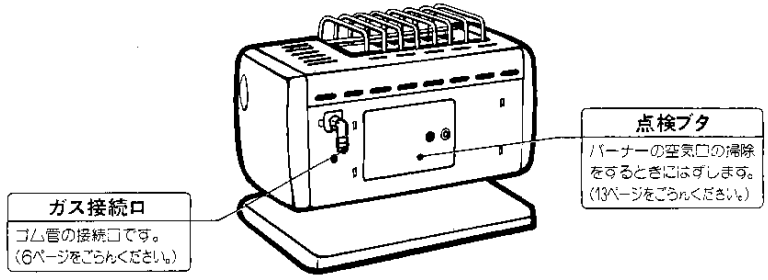
- ゴム管は、継ぎたしや二又分岐は行わないでください。
- ゴム管は、折れたりねじれたりしないように、できるだけ短くして（ガス用ゴム管は3m以内）、使用してください。
- ゴム管は、他の部屋まで延長したり、壁・天井などを通したりしないでください。
- ゴム管は、機器の高温部に触れたり、機器の下を通さないでください。

各部のなまえとはたらき

〈正　面〉



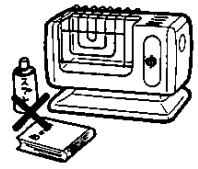
〈背　面〉



使用方法

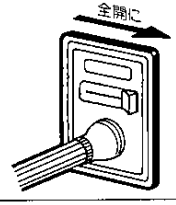
■点火前の準備と確認

1 機器周囲の確認



- 機器の近くに、スプレーや燃えやすいものがないことを確認してください。

2 ガス栓を開く

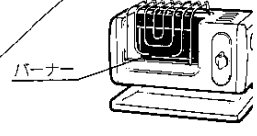


- ガスの接続を確認し、器具栓つまみが「止」になっていることを確認してください。
- ガス栓は、必ず全開にしてください。

■点火のしかた

器具栓つまみを点火の方向へ回します。

- 器具栓つまみを途中で止めずに点火の方向へゆっくりいっぱいに回します。
- 「カチッ」と音がして点火します。
- 点火を確認してから器具栓つまみを15秒程持ちつづけます。
- 器具栓つまみより手を離してからバーナーの着火(バーナー表面が赤熱します)を確かめてください。



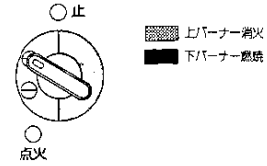
バーナーに着火したことを確かめます。

- 点火の際は、ストーブに顔を近づけないでください。
- はじめて点火するときは、ゴム管内に空気が入っていて点火しにくいことがあります。この場合は、空気が抜けるまで点火操作をくり返してください。
- 点火しなかったり、器具栓つまみから手を離したときバーナーの火が消えるときには、すぐに器具栓つまみを一旦止の位置に戻してからあらためて点火操作をくり返してください。
- ガス量をしぼると放射効果が落ちるばかりでなく、不完全燃焼を起こすおそれがありますので、ガス栓は全開でお使いください。
- この機器はガス量のしぼれない構造になっているため器具栓つまみを、点火操作の途中で止め手を離すと止の方向へ戻ってしまいます。

■火力切替のしかた

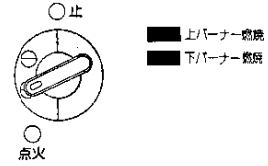
点火後器具栓つまみより手を離しますと、全開「⊖」表示の状態になります。

1 全開から半開にしてご使用の場合



- 器具栓つまみを半開「⊖」表示の位置に戻します。

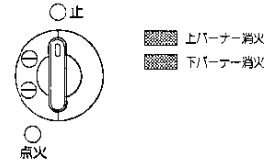
2 半開から全開にしてご使用の場合



- 器具栓つまみを全開「⊖」表示の位置にします。
- バーナーに着火し赤熱するのを確かめてください。

■消火のしかた

器具栓つまみを止の位置へ戻します。



- 器具栓つまみを止の方向へいっぱいに回します。
- 止の位置へ戻ると消火します。必ず消火したことを確かめてください。

- 点火初期にバーナー上下の赤熱状態が違うことがありますが、数分後にほぼ同一になります。
- 点火初期に数分間燃焼音(ブーブー音)がする場合がありますが異常ではありません。
- 点火時や消火後に金属の伸縮音(ピチピチ音)がすることがありますが異常ではありません。
- はじめて使用されたとき、煙やにおいが出る場合がありますが、油などが焼けるためです。しばらく換気しながらご使用ください。
- 常時燃焼型パイロットバーナーを採用していますので、機器をご使用中はパイロットバーナーが燃焼し続け消火しません。

使用時のご注意

使用中にバーナーが消火したときは、すぐに器具栓つまみを消火の状態に戻してガスを止め、さらにお部屋のガス栓も「止」の状態に戻して11ページの「故障かな?と思ったら」および、つぎの方法により処置してください。

安全装置が作動したときの処置方法

安全装置	働き	原因	処置方法
立消え安全装置	使用中に炎が消えてしまったとき、ガスを止め生ガスの放出を防止します。	ゴム管を踏んだり、ガス栓の開きが少なかったときや、強い風が吹いたときなどにおこります。	点検後、再点火してください。
不完全燃焼防止装置	不完全燃焼をする前に、燃焼を停止します。	ガスが正しく燃えるためには、ガスの6~10倍もの空気が必要です。しめきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼して、一酸化炭素を発生する危険があります。バーナーの空気口のほこりが詰まっても同様です。	じゅうぶんに部屋の換気を行い、バーナーの空気口部の掃除を行った後、再点火してください。
転倒時ガス遮断装置	機器が倒れたり、強い衝撃が加わったときに、ガスを止め消火します。	機器が倒れたときなどにおこります。	いったん器具栓つまみを「止」にし、再点火してください。

ご注意
- 安全装置が作動した後、点検して再点火しても、たびたび同じように作動をくり返すような場合は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思われたら、ただちに使用を中止し、修理・サービスをお申しつけになる前に一度つぎのことをお調べください。

こんなとき / お調べいただくこと	点火しない・点火しにくい	器具栓つまみより手を離すと消火する	ガスくさい	着火・火移りしにくい	爆発的に着火する	使用中に消火した、消火しやすい	バーナーがじゅうぶんに赤熱しない	点火時に「ポッ」という音がする	点・消火後「ピチピチ」という音がする	初めて使用するとき煙やにおいがでる	処置方法(理由)	参照ページ
ガス栓の開きわすれ	●										ガス栓を全開にする	8
ガス栓の開きが不じゅうぶん	●	●		●	●	●	●					
ゴム管の接続が不完全	●	●	●	●		●	●				ゴム管を確実に接続する	6
ゴム管内に空気が残っている	●	●		●							点火操作をくり返す	8
ゴム管の折れまがり、つぶれ	●	●		●		●	●				ゴム管の折れ、曲りを直す	6
ゴム管のひび割れ、穴あき	●	●	●	●		●	●				ゴム管を交換する	4
長時間換気をせずに使用している						●					部屋を換気する	2
バーナーの空気口にほこりが詰まっている						●	●				空気口の掃除をする	13
機器が転倒した						●					機器を起こす	10
器具栓つまみの操作が不じゅうぶん	●	●									器具栓つまみをいっぱいにまわす	8
器具栓つまみの保持時間が不足	●	●									器具栓つまみの保持時間を長くする	8
機器に強い風が当った						●					部屋の窓や戸を閉める	3
故障ではありません。								●			点火するときの音です	—
									●		機器内部の膨張・収縮音です	9
										●	しばらく換気しながら使用する(油などが焼けるためです)	9

このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、お買い求めの販売店、または、もよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社へご連絡ください。

ご注意
- 不完全な処置は事故のもとになりますので、絶対にお客さまご自身で修理なさらないでください。

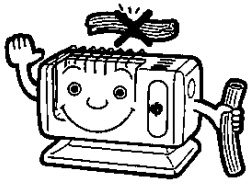
点検・お手入れ

■日常の点検

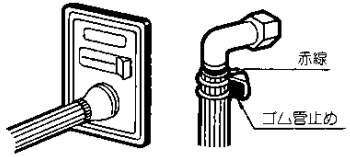
●ゴム管が折れたり、ひび割れたりしていませんか?

●ゴム管や接続部からガスが漏れていないか、ときどき石けん水などで点検してください。

●ひび割れたり、差し込み部がゆるんだゴム管は必ず取り替えてください。



●ゴム管が器具・ガス栓ともガス接続口の赤線までじゅうぶん差し込み、ゴム管止めで止めてありますか。



●ガス赤外線ストーブを安全に長くご使用いただくために日常の点検、お手入れを必ず行ってください。

ご注意

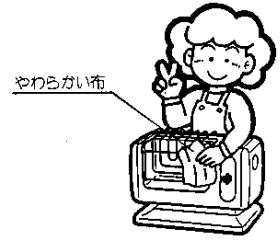
- 日常の点検・お手入れの際にはガス栓を閉じ、機器がじゅうぶん冷えてから行ってください。
- バーナーの空気口の点検ブタ以外の部分は、絶対に分解しないでください。

■お手入れ

●機器のお手入れ

汚れたらそのつどお手入れしてください。

●やわらかい布をぬるま湯でぬらしてよくしぼってから拭いてください。
特に汚れのひどいときには、やわらかい布に台所用中性洗剤をつけて拭き取ってください。



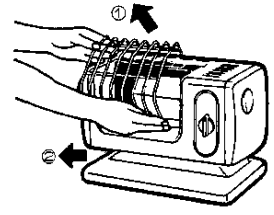
●反射板のお手入れ

反射板はガードをはずしてお手入れします。
お手入れを長期間しないとほこりがたまったりしますので欠かさないようにしてください。

●ガードのはずし方

① ガード上部を持ち上げ手前へ引く。

② 左へいっぱい押して右側を手前に引くとはずせます。

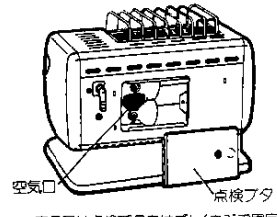


ご注意

- 機器・反射板のお手入れは、消火後機器がじゅうぶんに冷えたのを確かめてから行ってください。
- 化学ぞうきんやベンジン、シンナーなど揮発性のものは、絶対にご使用にならないでください。塗装の色があせたり、樹脂の部品が変色したりします。

●バーナーの空気口のお手入れ

シーズン初めのご使用前およびその後1カ月に1回程度、バーナー空気口(空気取り入れ部)にたまったほこりやごみなどを電気掃除機などで取り除いてください。



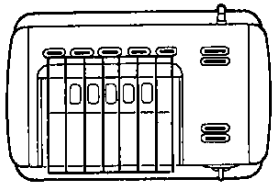
空気口は点検ブタをはずし(ネジで固定してあります)掃除してください。

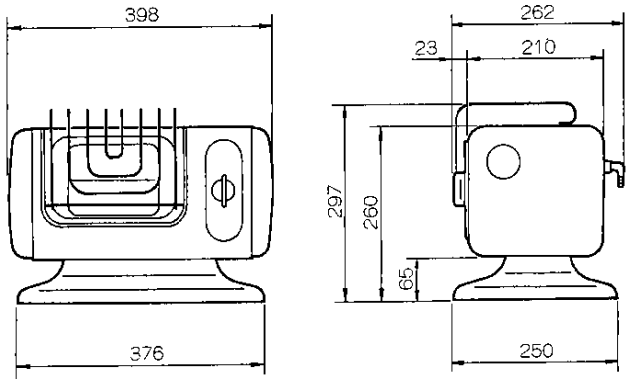
ご注意

- 機器内部の部品は調整してありますので触れたり、変えたりしないでください。
- 点検ブタ以外は、絶対分解しないでください。

寸法図

（単位：mm）





仕様

種別 / 項目		43-431型	
		都市ガス 13A	LPガス
ガス消費量		1900kcal/h	0.15kg/h
暖房のめやす		木造 6畳まで　コンクリート 8畳まで	
形寸法（mm）（高さ×幅×奥行）		297×398×262（ベース250）	
質量（kg）		4.7	
ガス接続		9.5mmφガス用ゴム管	
種類	設置の形態	すえ置式	
	給排気方式	開放式	
	放熱方式	放射式	
点火方式		圧電点火式	
安全装置		●立消え安全装置 ●不完全燃焼防止装置（熱電対方式） ●転倒時ガス遮断装置	
型式名		R-483PMS-201	

保管とアフターサービス

■保管(長期間使用しない場合)

●ガス栓を閉じゴム管をガス栓から取りはずしてください。

●機器の点検・お手入れをしてください。

- ●各部の汚れを取り除き、ほこりなどの異物が入らないようにビニールをかけてください。
- ●特にガス接続口には、ほこりやごみが入って通路がつまらないようご付属のキャップをしてください。
- ●湿気やほこりの少ないところに保管してください。
- ●お求めになったときの箱に入れておかれると便利です。

■アフターサービスのお申し込み

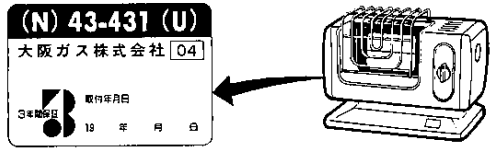
●サービスのお申し込み

●11ページの「故障かな?と思ったら」の項を見てもう一度ご確認ください。確認のうえ、それでも不具合がある場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。
なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

(1) 品　名……ガス赤外線ストーブ

(2) 品　番……左側面下部に貼付してあります。

(例)



(3) 現　象……(できるだけ詳しく)

(4) お名前、ご住所、電話番号、通順……(できるだけ詳しく)

●転居されるとき

●ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区分があります。
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。
ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

保証・補修について
この機器には、保証書がついています。

●保証期間中は…
保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。詳しくは、保証書をごらんください。
保証書を紛失されますと、無料期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

●保証期間経過後の故障修理について
お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間について
補修用性能部品の最低保有期間は、当製品の製造打切後7年間となっています。なお補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

●点検整備のおすすめ(有料)

●長期間、安全快適にご使用いただくために定期的に(3シーズンに1回程度)「点検整備」を受けられることをおすすめします。

●「点検整備」は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご用命ください。(有料)

●「点検整備」の内容は、下記の通りです。
① 機能部品の点検、確認
② 清掃整備